

kancolle  
fanbook  
keizyun-yo-kan  
【zintu-】

DOJIN  
R18  
成人向

# 神通潤情

じんつうじゅんじょう

penpen-gusa  
club presents







## 『神通艶情』あらすじ。



とある鎮守府に研修着任した若き士官候補生・御衣木(みそぎ)。着任早々海戦で大破した軽巡洋艦『神通』と出会う。

提督不在の中提督代理を務める旗艦『瑞鶴』に鎮守府についての説明を聞くもさっきみた神通のことが気になって仕方ない。

女の子として大怪我してるのが心配という御衣木に

「そんなに神通の事が心配なら怪我のお世話でもしてみる？」

と相談を持ちかける。

御衣木は神通の怪我の世話をするなか今まで女性に接する機会が無かったためか怪我の世話をするためとはいえ神通の柔肌を見るたび体が反応してしまう。それを神通に見透かされ

「貴方は私の世話をするように言われてるのでしょうか？」

「なら私の言う事を聞きなさい」

と言われ一線を超えてしまう。それからは神通の求めに応じてセックス漬けの日々。体の不調を押してまでセックスを強要する神通に艦娘としての業の深さを見た御衣木は彼女のために艦娘の為に立派な提督になる決意を改にする。

ところが研修半ばでありながら学校に還されてしまう。神通に別れも告げぬまま…。



数年後、提督となった御衣木は神通の前に現れる。

「俺の下に来い」と

それに対する神通の答えは一…

## 『神通嬌情』あらすじ。

提督となって神通の前に現れた御衣木(みそぎ)。神通を自分の鎮守府に引き抜きたいという申し出に話題をすり替えて断ってしまう。神通の意外な反応に戸惑う御衣木。神通の本心が見えない御衣木は暫くこの鎮守府に留まることにした。

一方、神通はといえば突然目の前に現れた御衣木に激しく動揺する。体の関係を結んでしまったとはいえ数週間、一ヶ月も居なかった彼に「立派な提督になる」という約束を果たしたのだから自分の下に来いと言われても素直に信じる事が出来ず何か他に意図があるのではないかと勘ぐってしまう。



断ったにも関わらず鎮守府に留まっている御衣木にますます不気味さを募らせる神通。彼と顔を合わせないように行動するも同じ鎮守府内の事、他の艦娘たちから色んな噂が入ってくる。そのたびに彼と体の関係を結んだときのことを思い出し自慰に耽ってしまうようになる。溜まった鬱憤を晴らすため御衣木に夜這いをかけて感情を爆発する。

御衣木はそんな神通を受け入れ詫びる。「俺はただ神通にまた逢いたくて提督になったんだ」と。決して神通を怖がらせたりどうこうしたりするつもりはないと。御衣木の本心を知り自らを恥じる神通。

「たとえ戦いで傷ついて斃れても強くて美しい神通が俺は大好きなんだ」と。そんな御衣木の言葉に心の底から泣き嗚咽を漏らす。

鎮守府逗留の最終日。皆と共に御衣木を見送っていた神通。そんな神通に鎮守府の皆がいる前で

「俺は何時迄も神通を待ってる」

と言い放ち、歓声と混乱と神通の肝を冷やして御衣木提督は去っていった





## まえがき。

こんにちは、お久しぶりです。  
ペンペン草くらのカタセミナミです。  
冬コミです！  
まさかまさかの神通本三冊目ですっ。  
これもお手に取ってくださる皆様のお陰です。有難うございます。

今回の新刊は神通が御衣木少年とのかかわりでどのように考え感じていたかを中心に描いてみました。  
単体でも読めるようにはしてみました  
が艶情と合わせて読むとより楽しめると思います。

それではページを読み進めて下さいませ～。

2016/12/某日 カタセミナミ拝



今日は  
駆逐艦達を  
連れての軽  
任務のはず  
だった

それがまさか  
敵大隊に遭  
うなんて

最悪



この時が私  
の少年時代の  
御木だつた  
出衣い



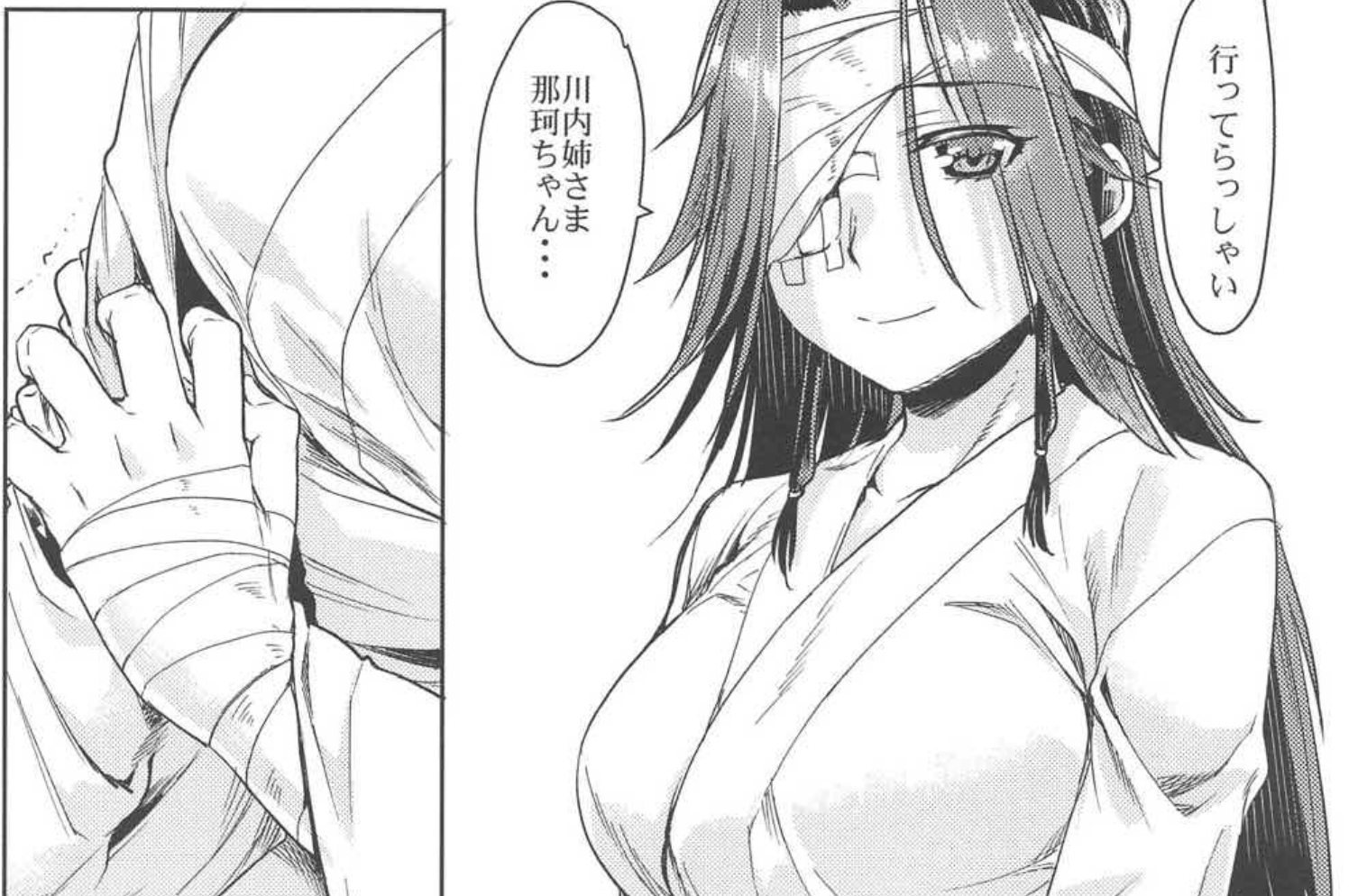
どきどきどき  
人凜然とする？

準備して！

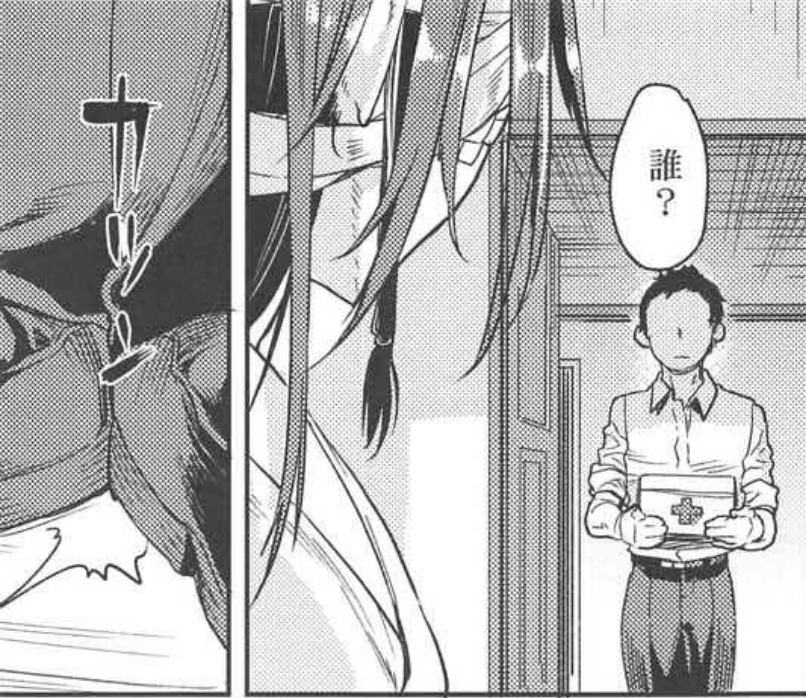


七瀬とミリアの  
ときどきに邪魔よ

はは！







ちゃんと人付けるから...

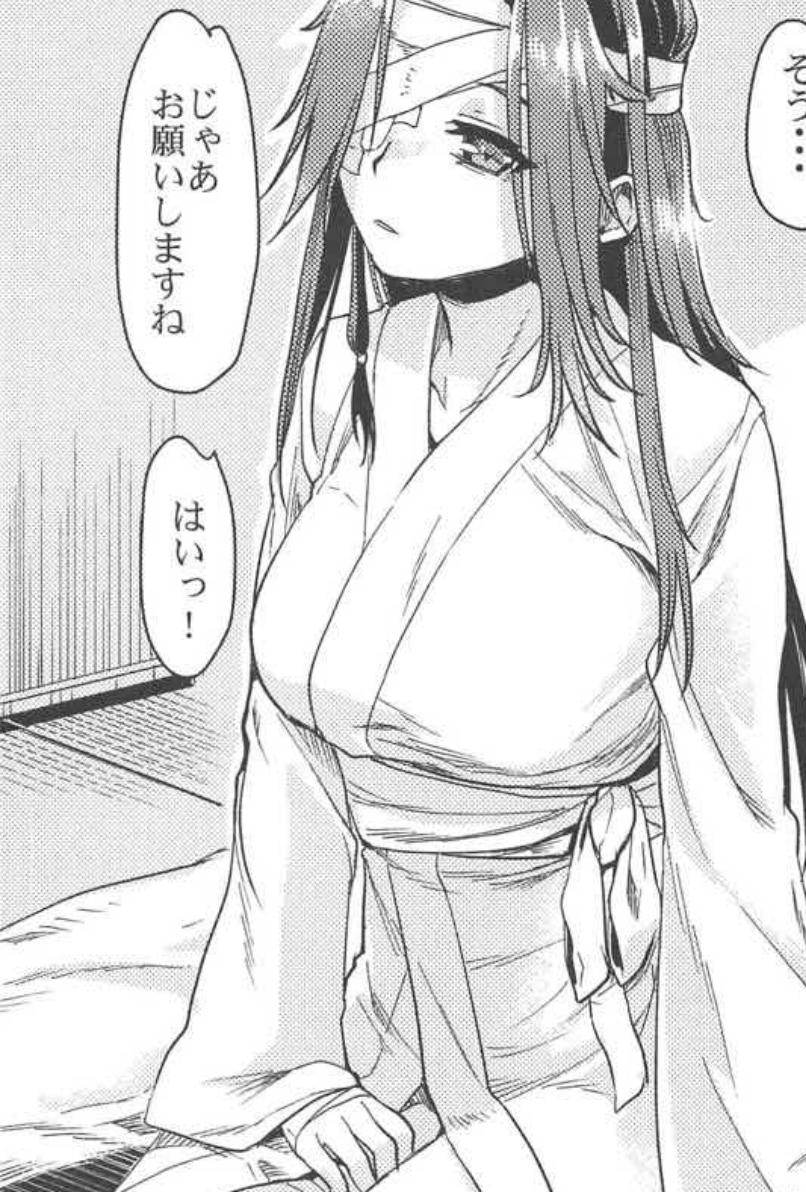


この度縁あって  
研修着任致しました

あの時の...

これより神通殿の  
治療補佐に  
当たらせて頂きます

そう...



じゃあ  
お願いしますね

はいっ!

誰が来るのかと  
思っただけれど...  
そうくるとは...





だいたいこの傷は治っているのですが

?

…って  
どうか  
しましたか?

いえっ

内部のダメージが残っている…

ゴッ!!

クッ

何でも  
ありません  
傷口洗わせて  
いただきますっ



明日から  
宜しくお願い  
致しますっ!

クッ  
クッ



三ツ  
は、今日  
は、お前  
の手を  
縛るよ

今日も  
元気で  
は



あ、や、や、  
じつとして……



大分経過  
いいですね

その手……  
ああ……  
以前訓練で  
火傷を……

神通の事  
よろしくうっ  
ほまっ  
っ!

出撃するよ  
那珂っ!



ダメ？  
こんな  
腫らして？  
……

ダメ……っ















いいわ...  
もっと犯して...

何コレ...  
アッ...  
キモチいい...

戦う以外の  
『耽<sup>ふけ</sup>る』という  
悦びを識<sup>し</sup>った













今夜も  
夜戦か...

大変だな  
川内さん達...

ハッ...



頭がオカシク  
なりそう...

神通さん!?  
ちよ...!!  
何して...っ



あつ...

はやく...

冷まさないと...

体が火照って  
眠れないの...  
だから

す...

鎮めて...  
いつもの様に

何言ってるん  
ですかつ  
熱あるじゃ  
ないですかっ

氷作って  
来ますからっ

いらないっ

ん...

何かを求めて  
躰が熱くなる

どわっ

戦いの熱が  
未だ冷めない…

夜戦の  
夜が来るたび

躰が  
疼くのよ



だからお願い…  
シて…っ

いつもの様に  
掻き回して…っ

…っ…っ…っ





だつて私……っ  
こんな怪我して  
こんな体で……っ  
戦えないの……っ

優しくしないで

痛!!



嫌……っ

傷に  
障りますっ

止めましょう  
神通さんっ  
何も今じゃ  
無くて……

神通さん!!

三々

々々



戦いたくて  
仕方がないの…

返めて

こんな姿  
誰にも  
見られたくない

もつと  
蔑んで

神通…さんっ

自分の浅ましさに  
気付いてしまう…っ



一緒に  
落ちて

だからお願い  
いつもの様に  
熱を冷まして



でないと私

メチャクチャに  
突いて…っ  
奥まで抉ってえええっ









ふんふん  
ふんふん  
ふんふん

ふんふん  
ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふん...

ふんふん

ふんふん





ごめんなさい...



え...?

今まで自分勝手な理由で...

貴方を利用して...

私...?

本当に...

私...?



あの...っ

だから

アレ?

神通さんが戦い続けられるよう立派な提督に成りますっ!

え?

俺...っ 頑張りますから!



え?

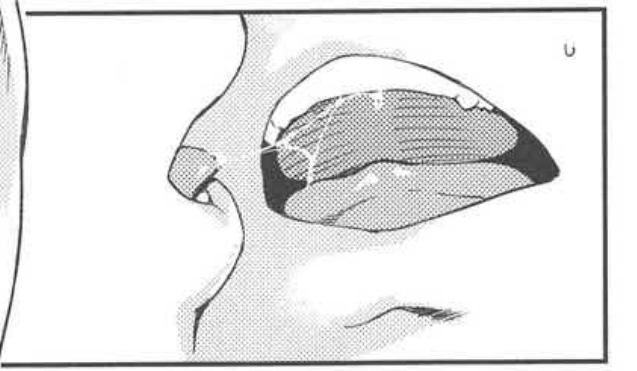
貴方は私とはちがうのね...

えっと そのですねっ

つてそれじゃあ棲艦との戦い終わらないか...



ありがとう







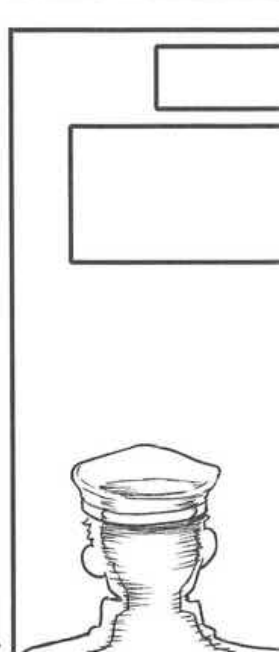
言われた通りにしたわよ



神通







久しぶりだな  
二人とも  
俺の事を  
覚えているか？

神通呼んでこい  
って言われてさい

何か話  
あるんだって

何でしょう？

え...？

アタリ♡

神通

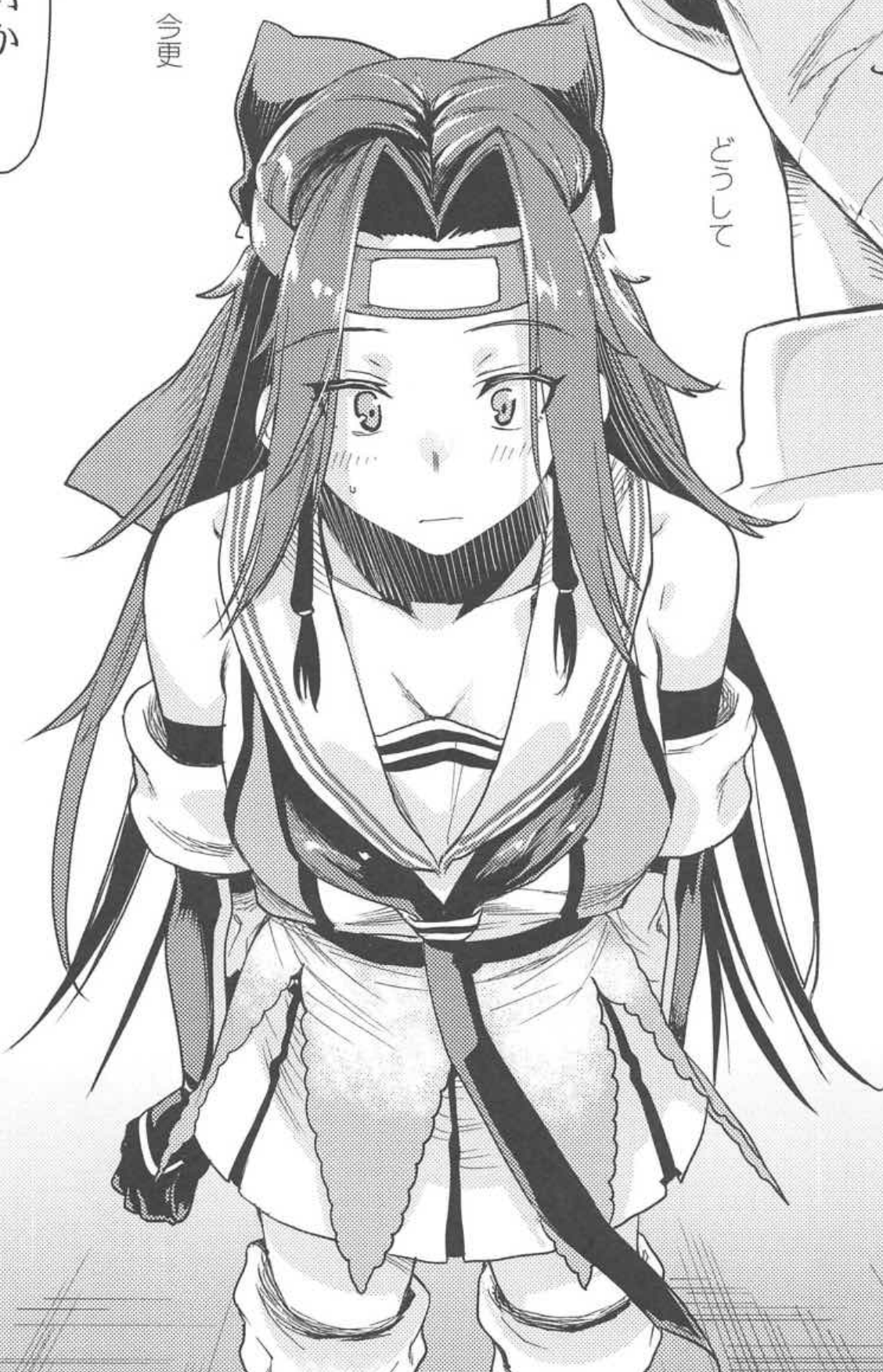
なぜ

俺の下に

今更

来ないか

現れるの…？





お...

お断りいたします...



私は

この人が  
怖い!...

躰が火照る...



